

# はしがき

平成16年4月に国立大学等が法人化され、はや1年余りが経過しました。

国立大学法人等は、従来の国の法令に従った運営から離れ、自主性・自律性を発揮した組織として発展することが期待されていますが、法令準拠から経営発想への移行は国立大学法人等にとって初めてのことであり、十分な知識・経験の蓄積もなく、試行錯誤の連続であったのではないかと察するところでもあります。

本センターでは、国立大学法人経営ハンドブック第1集を平成16年5月に刊行しましたが、この種の体系的なガイド類がないため、関係者から好評を得ていると聞き及んでおり、法人化直後の過渡期において、国立大学法人等のために一定の役割を果たしているものと考えております。

第1集は法人化に伴い需要が高いと思われる法人制度の概要、財務管理などを中心に解説しております。今回の第2集では、法人経営を行う上で重要となる人事、組織業務、施設などの組織内部の管理を中心に解説することとして編集を行いました。

編集作業には、編集委員会を設け、各専門家に加え、実際に国立大学法人等の人事管理、組織管理などに携わっている役職員の方々にもご参加いただきました。

また、この第2集についても、今後、法人化による種々の課題を確認し、法人経営の進展に伴い必要とされる事項を適宜追加したり、優良事例を紹介するなどして記述内容の改訂を図り、より一層国立大学法人等の財務・経営の改善に資することを願っています。本書が第1集と同様、関係者のお役にたてば幸いです。

平成18年1月

独立行政法人 国立大学財務・経営センター  
理事長 遠藤 昭雄